



鶴ヶ島市立長久保小学校 学校だより

第 3 号

令和7年 6月 2日

文責 校長 伏見 隆一

鶴ヶ島市脚折町 4-12-1

Tel 049-286-2160

はばたき



雨が降ったり、寒暖の差が大きかったり、天候が安定しません。関東地方ももうすぐ梅雨入りでしょうか。うっとうしい季節になりますが、健康や安全に気を付けて、元気よく過ごしてほしいと願っています。



めざす学校像

ミッション

学校だよりの前号（第2号）で、学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」について、具体的な取組の一端を説明させていただきました。今号は、本校の目指す学校像（ミッション）

『笑顔とやさしさに満ちた、夢の実現をめざす学校』

についての思いを紹介します。

子どもの笑顔に接すると、うれしくなります。嫌なことも吹き飛びます。子どもの笑顔は、全てにまさり、それに敵うものではありません。人のやさしさは、太陽のようで、とても温かく、強く、全てを包み込みます。子ども一人一人の「知・徳・体」を伸ばし、一人一人の夢が実現できるような学校を目指します。

子どもたちが、笑顔とやさしさに満ち、心身ともに健康であることを願っています。家庭・地域においても、笑顔とやさしさが満ちあふれることを願っています。ご協力よろしくお願いします。



ぐんぐんノート

自主学習

本校では、子どもたちが自分で課題意識を持って、主体的に学習ができるようになるため、また、家庭学習の習慣化を図るために「長小ぐんぐんノート（＝自主学習ノート）」の取組を行っています。子どもたちが積極的に自主学習できるように、ご家庭でも声をかけてください。

子どもたちに少しでも励みになるよう、3冊終了する毎に校長室で『ぐんぐん賞』を渡し、称賛しています。10冊終了で『ぐんぐん特別賞』です。

勉強は、楽しいよ

宇宙科学分野の研究者が、「研究をすればするほど、分からないことが出てくる。研究を進めなければ、分からないことは出てこない。だから、分からないことは、よいことだと思っている。分からないことがあると、わくわくする。」と話をしていました。

勉強をすればするほど、知識量は、増えますが、上述の研究者のように、新しい課題や分からないこと、疑問に思うことも増えてきます。したがって、学び続けることが必要です。分からないことがあってもあきらめないこと、そのままにしないこと、疑問に思うことは調べること等、一つ一つ解決しておくことが大切です。

多くの子どもは、「分からない」と、どうしても「やる気」が低下してしまいます。学校でも「やる気」が高められるよう、勉強することが当たり前になるよう、子どもたち一人一人の努力を認め、励ましながら指導・支援をしていきます。ご家庭でも、家庭学習が当たり前となるようご支援ください。

子どもたちにとって、これからの新しい時代を生きぬくためには、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等の涵養」、生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」が必要になります。

「知っていることを使って、どのように社会・世界とかわかり、よりよい人生を送るか」を重視しています。本校でも、「学び合い学習」「ICTの活用」など、子どもたちが意欲的に自ら考えて学習に取り組めるような授業への転換を図っています。そして、子どもたち全員が、生涯にわたり能動的に学び続けられるような力を身につけること目指しています。

5年生 最高学年へ 前進中 宿泊学習

先月27日・28日に5年生が、小川げんきプラザへ宿泊学習に行ってきました。力を合わせたスタンプラリー、絆を深めたキャンプファイヤー、火を起こしてから作ったカレーライス、自分の役割に責任を持ち、みんなで協力して活動できました。とても有意義で学びの多い2日間でした。

5年生は、素敵な最高学年にまた一歩近づきました。